



第 3 4 号
2011 年 3 月 15 日



埼玉県合唱連盟
〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13
(朝日新聞さいたま総局内)
TEL 048-824-8161
FAX 048-831-5310
<http://www4.ocn.ne.jp/~scl/>

第 63 回

全日本合唱コンクール全国大会

2010年10月30日(土)・31日(日) 高等学校部門A・B・中学校部門(同声・混声)

11月20日(土)・21日(日) 大学・職場・一般の部

於：兵庫県／兵庫県立芸術文化センター



昨年10月30日(土)・31日(日)と、オープンして5年の木の温もりがあり、とても響きが豊かな兵庫県立文化センターにて、第63回全日本合唱コンクール全国大会中学校の部及び高等学校の部が開催されました。本県からは、関東支部代表として、中学校3校、高等学校3校が見事全国大会に出演しました。

第1日の30日は、高等学校部門Aグループ16団体及びBグループ19団体の演奏が行われました。本県からは、Aグループ12番目に松伏高等学校が、Bグループ6番目に星野高等学校、トリの19番目に浦和第一女子高等学校が出演しました。審査結果は、星野高等学校と浦和第一女子高等学校が銀賞、松伏高等学校が銅賞でした。

第2日の31日は、中学校部門同声合唱の部19団体及び混声合唱の部21団体の演奏がありました。本県からは、同声合唱の部トップバッターで栄東中学校、17番目に狭山ヶ丘中学校が、混声合唱の部8番目に豊春中学校が出演しました。審査結果は、狭山ヶ丘中学校が銀賞、栄東中学校と豊春中学校が銅賞でした。

今回、埼玉県の出場校全6校を含め、多くの演奏を聴くことができました。県内でもここ10年の間に技術の向上が全体的に目覚ましいと感じておりましたが、全国大会ともなると更に素晴らしい演奏をする団体が多く、とても良い時間を過ごせました。埼玉県の出演校はどの学校も、それぞれの学校にあった選曲で堂々としていて素晴らしい演奏内容で、審査結果は金賞を逃しましたが、ほとんどの学校に金賞に値する順位をつける審査員があり、出演順や審査員の好みによって審査結果が分かれるのではと思うような印象を持ちました。一方、特に高等学校の部の自由曲では同じ作曲者のものが全体の三分の一程あり、選曲について考えさせられました。

全国大会に多くの出演校を送っている埼玉県は、県大会から参加校が多く切磋琢磨している賜物なのだなと思うと同時に、更に中高の連携や横の繋がりを持ってレベルアップしていけたらと思います。そして、より多くの中高生の皆さんに、各都道府県を代表するホールで行う全国大会、という晴れの舞台で演奏出来る機会を持っていただけたらと願っております。

(副理事長 浅井 一郎)

【高等学校部門A】

松伏高等学校合唱部

顧問 浅見 郁美

かけがえのない夢のような時間…

本校合唱部は、18、19年度に全国大会に連続出場し、20、21年度は関東大会で金賞を受賞しながらも全国大会には一步及ばず…そして、今年度再び全国大会への切符を手にする事ができました。全国のステージは、かけがえのない夢のような時間でした。そして、今までの演奏の中で、一番気持ちが詰まったステージでした。当時、部員は38名おりましたが、32名以下のA部門での出場を決めたため、6名はサポートメンバーとして大いに活躍してくれました。コンクールメンバーだけでなく、客席で見守っていたサポートメンバーを含めた38名全員で気持ちを一つにできたことが今回の結果につながったと思っています。

この経験は、部員にとって貴重な人生の財産になりました。ここまで来るためにご支援ご協力いただいた全ての方々に感謝致します。

前顧問の青木恵子先生のご尽力により輝かしい実績を残してきた合唱部を引き継ぎ、今年度から新体制となりました。歴史はまだ浅く発展途上の段階ですが、新たに目標を見据え、日々試行錯誤しながら取り組んでいます。努力は決して裏切らないことを信じ、今後も多くの方々に幸せにできるような心地良い音楽を奏でていきたいと思ひます。



銀賞

浦和第一女子高等学校音楽部

部長 丸山 千尋

最高の幸せと深い感謝…

2010年10月30日、私達浦和第一女子高校音楽部は、高まる緊張の中、神戸の舞台を踏みました。思い返せば、昨年度第62回の全国大会では19団体のトップバッターとして演奏し、全国大会の空気を創り出すという重要な役割を経験しましたが、今回は一転してトリという演奏順。全国の舞台の最後を飾るのにふさわしい演奏をする責任も感じつつ、部員が一つになって自分達の想いを客席へ送り出しました。

今年度演奏した曲は、課題曲、自由曲ともに日本語の曲です。日本語の発音の奥深さには幾度となく悩まされましたが、その中で音楽と絡み合う日本語の美しさを見つけ出すことができました。全国大会で得られたことは、このような音楽的な向上をはじめ、良きライバルであり同様に合唱を愛する仲間との絆、そしてコンクールに携わる多くの方々の暖かい支えを知ったことです。最高の幸せと深い感謝の気持ちを実感できた、かけがえのない時間でした。

この結果に対する想いは一人一人様々でしょう。しかし、全国大会での経験は確実に私達を成長させてくれました。大会で味わった幸せと感謝の気持ちを忘れずに、さらなる高みを目指して努力していきたいと思ひます。



銀賞

星野高等学校音楽部

部長 島村 比花里

母性・愛・善悪・生死に関する深いメッセージ…

私たち星野高校音楽部は、「心に響く音楽を」をモットーに毎日楽しく活動しています。今年度も全国大会というすばらしい舞台に、埼玉県代表として4年連続で出場することができました。これもひとえに、いつも私達を支えて下さっている方々のおかげだと、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度の自由曲「白い乳房 黒い乳房」は、初めての委嘱作品でした。作曲家・篠田昌伸さんは、私たちの能力や個性を理解したうえで作品を作り上げてくださいました。この曲の題名はショッキングかもしれませんが、内容には母性、愛、善悪、生死に関する深いメッセージがこめられています。その大切なメッセージが皆さんにも伝わるように、部員125人で話し合いを重ねました。本番ではこの作品に対するたくさんの想いを、一つのハーモニーにして届けることができたと思ひます。

これからも、たくさんの曲に出会っていきと思ひますが、一つ一つの作品に込められた想いを大切にしながら、仲間とともに歌える喜びを胸に、日々の練習に励んでいきたいと思ひます。



銀賞

【中学校部門同声の部】

栄東中学校コーラス部

部長 花田 千夏

溢れる涙を止めることが…

今年のコンクールに臨むにあたり、昨年先輩達と共にいただいた嬉しい成績が誇りでもあり、また大きくプレッシャーとして私たちの心にありました。熱くなりすぎて気持ちがぶつかったり、上手く気持ちがまとまらなかったりと、決して順風満帆な活動ではありませんでしたが、そういった一つ一つのハードルを部員全員で力を合わせて乗り越え、少しずつ成長を重ねながら私たちが得たものはとても大きく、また、かけがえのないものになりました。関東支部代表のアナウンスを聞いた瞬間の喜びは言葉にならず、溢れる涙を止めることが出来ませんでした。

全国大会のステージでは、県大会や関東大会で涙をのんだ学校の皆さんの気持ちも背負い、最高の演奏ができるようにと臨みました。出演順1番という決して有利ではない状況でしたが、素晴らしいホールと満員の聴衆の中、私たちの音楽を全国の皆さんに届けられたことは、部員全員の誇りです。

今年選んだ作品と出会ってから半年間、和音の響きを磨き、バランスを整え、異国語の発音に頭を抱えながら、少しずつ作品と一体になった気がします。私たち3年生にとって中学校生活最後の演奏を迎えるにあたり、自分たちが積み上げた練習を信じ、仲間を信じて、心一つにステージに上がりました。いただいた賞は少しだけ残念なものでしたが、何よりもメンバー全員が笑顔で舞台を降りられたことがとても嬉しかったです。

最後になりましたが、いつも隣で支えてくれた両親、校長先生をはじめとする諸先生方、また、応援していただいた全ての皆様に、心から感謝の気持ちを申し上げます。ありがとうございました。



銅賞

所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部

2年部長 神田 早紀

副部長 小谷野 友莉

練習は多くの困難がつきまとい…

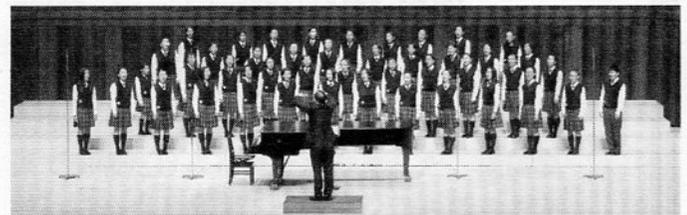
狭山ヶ丘中学校合唱部は過去において、多くの大会に出演を果たしてきた伝統ある部です。現在は宮本隆久先生の指導のもと、部員一人一人が誇りを持って活動しています。

今年度のコンクールで演奏した「涙」、「霧明け」は詩の内容がとても深く、中学生の私達がどう表現していくか…。毎日の練習は多くの困難が付きまといました。それでも互いに意見を出し合い、話し合いを重ねることで少しずつ詩を理解し、一つ一つの言葉を大切にしながら歌う事が出来るようになりました。その甲斐あって全国大会のステージでは心を込めて歌い上げることが出来ました。

記録的な猛暑の中、3年生を中心に日々努力出来た事は私達合唱部の宝となりました。

力のある先輩方が引退し、新たなスタートが切られました。これからもこの粘り強さを忘れずに進歩し続け、私達1、2年生で新しい伝統を創り上げたいと思います。

最後になりましたが、本校の校長先生を始め先生方、保護者の方々や地域の皆様、そして埼玉県合唱連盟の皆様へ深く感謝致します。本当にありがとうございました。



銀賞

【中学校部門混声の部】

春日部市立豊春中学校混声合唱団

新部長 草次 沙絵

現代に生きるエネルギー・生きる力を全国に…

私達合唱団は今年度で4年連続8回目の全国大会出演を果たすことが出来ました。今年度の曲「ヨハネス福音之傳Ⅰ・Ⅳ」は、日本最古の日本語訳聖書をテキストとし、日本の伝統音楽と西洋の教会音楽が組み合わされた曲です。私達の伝統につながっているものがあるこの曲で、現代に生きる私達のエネルギー・生きる力を全国大会の舞台上で発揮することが出来ました。

今年は初心者が30名という厳しい条件の中「音楽は心」をモットーに、一丸となって頑張ることが出来ました。私達が全国大会に出演出来たのは卒業生の先輩方が夏休みはお忙しい中毎日のように、熱意あるご指導をしてくださり、私達の応援に駆けつけてくださったからです。又、保護者の方が毎日遅くまで練習する私達を見守ってくださり支えてくださったからです。そして、地域の方や学校の先生方も協力してくださり、とても良い環境で練習に励むことが出来ました。大変感謝しています。これからも仲間との絆・共に歌える喜び・応援して下さる方々への感謝の気持ちを忘れず日々の心のあり方を大切に、これからも練習に励んでいきます。私たちの音楽で一人でも多くの方に幸せな気持ちになっていただけたら嬉しいです。



銅賞

撮影：大阪フォトサービス

第65回関東合唱コンクール審査結果

中学校部門混声 【金賞】 春日部市立豊春中学校混声合唱団
春日部市立武里中学校合唱団
【銅賞】 所沢市立三ヶ島中学校合唱団

中学校部門同声 【金賞】 栄東中学校コーラス部
所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部
ふじみ野市立大井中学校音楽部
【銀賞】 秩父市立秩父第一中学校コーラス部
【銅賞】 春日部市立豊春中学校合唱部
川口市立領家中学校

高等学校部門A 【金賞】 県立松伏高等学校合唱部
栄東高等学校コーラス部
【銀賞】 慶應義塾志木高等学校ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

高等学校部門B 【金賞】 星野高等学校音楽部
県立浦和第一女子高等学校音楽部
県立大宮光陵高等学校合唱団

【銀賞】 県立熊谷高等学校音楽部
県立松山女子高等学校音楽部
埼玉栄高等学校コーラス部
【銅賞】 県立大宮高等学校音楽部

一般の部A 【金賞】 Paradise Relax
【銅賞】 合唱団amore
クール・ヴァン・ヴェール

一般の部B 【金賞】 La Mer
【銀賞】 Wings
【銅賞】 浦和混声合唱団

大学部門 【銅賞】 跡見学園女子大学合唱団

全日本理事長賞 星野高等学校音楽部

下線の団体は、全国大会出演

彩の国さいたま童謡コンサート2010

2010年12月27日（月） 於：埼玉会館

私たちの住む埼玉県には、下總皖一作曲の「たなばたさま」や「野菊」、清水かつら作詞の「靴が鳴る」など、ゆかりの童謡が数多くあります。こうした郷土ゆかりの音楽を守り育てることは、芸術文化の向上のみならず、私たちの普段の生活を豊かにするものです。

このたびの童謡コンサートに、少年少女合唱団コーロ・トゥッティ、児童合唱団「野うさぎ」、星の子児童合唱団、戸田市少年少女合唱団、そして春日部ジュニアコーラスの5つの合唱団が参加しました。各団の子どもたちは発表の日まで「野菊」と「たなばたさま」をしっかりと練習しました。その一生懸命さは当日初めてのリハーサルで手に取るように分りました。

子どもたちを何がそこまで熱心にさせたのでしょうか。そこには郷土の偉大な先人が残した楽曲ゆえに成し得た何かがあったような気がいたします。

会場からいただいた大きな拍手は子どもたちにとって良い思い出になったことと思います。またいつか一緒に歌う日のために、これからも歌い続けることを約束して会場をあとにしました。（理事 本田 尚子）

合唱指導者派遣事業スタート

県内の小中学校等に合唱指導者を派遣し、合唱の喜びを子どもたちと共有することを通して合唱愛好者の裾野を広げようと、昨年11月から「合唱指導者派遣事業」がスタートしました。今年2月末現在で20校から申し込みが来ています。

事業の立ち上げに当たって、役員で手分けをして各市町村の教育委員会を訪問し、学校へのチラシ配布を依頼してきましたが、いずれの教育委員会も好意的に対応してくれました。

初回は1月7日（金）、熊谷市立大原中学校。指導者として廣重理事を派遣しました。以下に同理事の手記を掲載します。

指導者派遣事業を終えて

埼玉県合唱連盟では、小・中・特別支援学校を中心に合唱の楽しさや喜びを子どもたちと共有し、次代を担う合唱人を育成するために、新プロジェクトを立ち上げました。その派遣者第一号として私は1月7日（金）に熊谷市立大原中学校へ伺いました。早めに到着したので、音楽部顧問の滝口小百合先生にクラブの活動状況を尋ねたところ、ほぼ毎日トレーニングを積み、練習にも熱心に取り組んでいるとのことでした。

その後音楽室に案内されると、明るく元気のよい15名の生徒たちが迎えてくれました。日頃しっかりとトレーニングを積んでいるというだけのことはあり、基礎的な能力は高く、呑み込みも早かったです。また、反応も素晴らしく、前半70分という限られた時間ではありましたが、みるみると成長していく様子に指導している立場の私も心躍る気持ちでした。呼吸はより深く、横隔膜の支えもより強くなり、特に肩、顎を中心とした上半身の力みが抜け、鼻腔にあたった豊かな声になりました。

10分の休憩後、50分の指導に入りました。後半はアンサンブルコンテストの曲の

指導をしました。曲目は“南島歌遊び”のその1とその3からそれぞれ、「陽気な娘たち」「戯れ」の2曲でしたが、時間の関係で前者だけの指導となりました。横隔膜でしっかりとリズムを取りながら歌うことと、喉の奥・口腔内を大きく開け、お腹からしっかりと声を出すことで音程が安定し、幅のある豊かなハーモニーになりました。さらに、子音をよりはっきりと発音できるように指導をし、表情を明るくするように話すと、表現力がぐっと上がったのを実感しました。

わずか2時間の指導でしたが、先生にも生徒たちにも大変喜んでもらえ、指導をしたこちらにも指導の楽しさ・やりがい・指導の成果を十分に感じる事ができました。また、学校それぞれが抱える問題や悩みの解決の一助となる事ができれば、この新しい取り組みは大いに意義あるものであるといえます。この機会で、わずかではありますが助けになる事ができたという手応えと、事業を継続して裾野を広げていく魅力を実感する事ができました。

（理事 廣重 雅己）

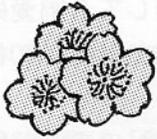
第 22 回 埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト

2011年1月21日(金) 高等学校の部

22日(土) 中学校の部

23日(日) ジュニア・レディー・ユース・一般の部

於：久喜総合文化会館



新年初行事として1月21日(金)～23日(日)久喜総合文化会館にて、高校66、中学41、ジュニア6、レディー12、ユース12、一般14、合計151団体の参加をいただき過去最大のコンテストとなりました。参加団体数は一昨年が129団体、昨年が137団体と確実に増え、県大会としては日本最大ではないかと思われます。皆様ご参加ありがとうございました。

内容も各部門ともに充実したものであり、各団の皆様の日ごろの練習の姿が見えるようでした。特に中学・高校の上位常連の団体は相変わらず健在でありとても見事な演奏でした。しかし注目する点はその次のグループの質の高さと数の多さです。実力が接近しており個人的には夏の大会の関東代表争いはドキドキしてきました。これは楽しみでもあり、またこれが埼玉の底力であり今後が注目されます。その他の部門も確実にレベルの向上を感じました。中でも気になったのが実力校の卒業生で構成された若い合唱団の活躍です。素晴らしいだけでなく、埼玉の一般も動き始めてきたかなと感じさせられま

した。ただし以前学生時代に演奏したことがある曲の再演という傾向にもあり、さらに新しいものへのチャレンジが期待されます。今後一般の部も目が離せません。また、ジュニアの育成も連盟の大切な取り組みとしてあり、今後是非応援していきたいと思っています。

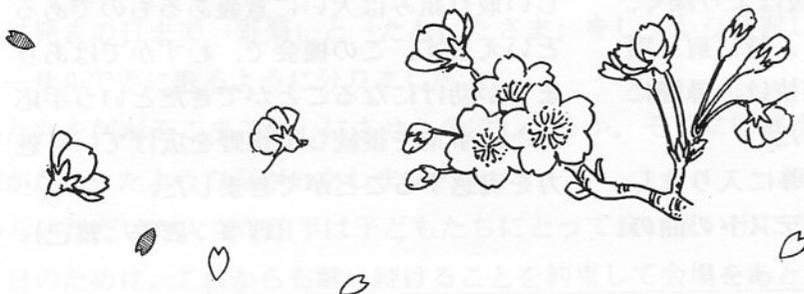
来年はいよいよ念願の関東大会が埼玉で行われます。是非アンサンブルコンテストの先進県として他県をリードしていきたいと思っています。

また、今回忘れてはいけないこともあります。「旅立ちの日に」を作詞されました小嶋登先生が先日、突然亡くなりました。そこで、中学校部門の日の最後に全員で「旅立ちの日に」を大合唱し、先生のご冥福をお祈りいたしました。

また、今大会は入場者数もかなり多く、最終日にはプログラムが不足してしまい、大変ご迷惑をおかけいたしました。深くお詫び申し上げます。

最後になりましたが、今回ご協力いただきました久喜総合文化会館の皆様、エール交換の際に粋な照明までしていただいた舞台スタッフの皆様方、さらに運営にご協力いただきました各合唱団の皆様方に深く感謝を申し上げます。

(常務理事 蓮沼 喜文)



さいたま市立海老沼小学校合唱部

6年 筧 満里奈 / 5年 神保 彩奈

きれいに聴こえた時、
虹を見た時のような気持ちに…

お母さんは、私のことを世界に一つしかない楽器だと言うけど、私は違うと思う。だって、楽器はモノで、私は人間だ。人間は生きていて、泣いたり、笑ったり、怒ったりする心がある。見たものをきれいに感じたり、こんな風になりたいという希望を持つ。だから、私はただの楽器ではない。

合唱していて一番楽しいのは、みんなの声が三部のハーモニーとなって、きれいに聴こえた時…。そんな時私は、虹を見た時のような気持ちになるのだ。体育館や廊下などで練習した時も、音楽室とは違ってみんなの声がきれいに響いて、とても気持ちが良かった。ホールで歌うともっときれいに響くのだろうと思うと、心がワクワクしてきた。(筧)

私は、自信を持って楽しく歌えば、お客さんにもそれが伝わることを信じて、本番でもいつも通り楽しく、最後まで歌い切れた。今の演奏がお客さんの心に響いてくれていたら、きっといい結果が出る!! と信じて、私は祈るような気持ちで発表を待った。

いよいよ、待ちに待った結果発表…。「それでは、金賞を発表します。金賞、さいたま市立海老沼…」「キヤ〜〜〜〜ッ!!」(神保)



久喜高校音楽部 わらべ

2年部長 清水 里沙

「常に笑顔で!」をモットーに、
さらなる向上を…

久喜高校音楽部は、部員が1、2年30名で、2チームに分かれて参加しました。1チームの人数が少ないので、大ホールに響く声が出せるのか、とても不安でした。そのために一人一人がしっかりと声を出せるように、いろいろな練習を試みました。声がよく響く階段の踊り場で歌ったり、外の渡り廊下で富士山を眺めながら歌ったり、リズム感を出すために踊りながら練習もしました。

また、曲のイメージ作りのために、グループになって小芝居などを作ってお互いに発表しました。これによって沢山の面白いストーリーができ、私たちがなりの曲のイメージを作ることができました。メンバー全員がこの曲が大好きで、いつまでも歌っていききたい曲となりました。

「常に笑顔で!」をチームのモットーとし、毎日楽しく練習していくうちに、メンバー同士の信頼関係が深められたことがなによりもよかったことです。

このSVECを通して、たくさんの勉強ができました。これからもさらなる向上を目指して努力を続けていきたいと思います。



撮影：スタッフ・テス(株)

第22回 埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト審査結果

★高等学校の部 (1/21)

- 【金 賞】 星野高校音楽部「Fontina」(知事賞)、久喜高校音楽部 わらべ (教育長賞)、星野高校音楽部「Provolone」(総局長賞)、慶應義塾志木高校ワグネル・ソサイエティー男声合唱団、星野高校音楽部「Scamorza」、松山女子高校音楽部 アウロラ、久喜高校音楽部 Flugel、県立川越高校音楽部 A、栄東高校コーラス部、小松原高校音楽部神威(カムイ)、伊奈学園総合高校音楽部 音花、大宮高校音楽部 Fantasy、小松原高校音楽部 ONLY ONE、西武学園文理高校合唱部、大宮高校音楽部 Praise、浦和第一女子高校音楽部 Sirius
- 【銀 賞】 県立川越高校音楽部 B、松伏高校合唱部 Glorious、伊奈学園総合高校 ハイリンク、浦和高校グリークラブ 氷霧、大宮光陵高校合唱団 unitamente、松山女子高校音楽部 エウフォニア、松伏高校合唱部 Vago、浦和第一女子高校音楽部 Procyon、不動岡高校音楽部、浦和第一女子高校音楽部 Betelgeus、川越女子高校音楽部、春日部女子高校音楽部、大宮光陵高校合唱団 和、熊谷高校音楽部 Arkas、春日部共栄中学高校合唱部、大宮開成中学高校コーラス部、熊谷高校音楽部 Kallisto
- 【銅 賞】 小松原女子高校合唱部、坂戸西高校音楽部、芸術総合高校合唱部、秩父高校音楽部、埼玉栄高校ルーテウス、埼玉栄高校フィオーレ、浦和学院高校コーラス部 GLANZ、浦和高校グリークラブ 六花、蕨高校音楽部、さいたま市立浦和南高校音楽部、川越南高校音楽部、羽生第一高校コーラス部、寄居城北高校コーラス部、浦和北高校音楽部、所沢北高校音楽部、春日部高校音楽部 コーロ・マスキーレ
- 【優良賞】 坂戸高校音楽部 (奨励賞)、岩槻高校合唱部、久喜北陽高校コーラス部、川口市立県陽高校音楽部、秋草学園高校音楽部、熊谷西高校合唱部、花咲徳栄高校コーラス部、誠和福祉高校コーラス部、淑徳与野高校音楽部、川口市立川口総合高校音楽部、栄北高校コーラス部、川口北高校コーラス部、小川高校音楽部、松山高校音楽部、白岡高校音楽部、富士見高校合唱愛好会、鶴ヶ島清風高校合唱部

★中学校の部 (1/22)

- 【金 賞】 所沢狭山ヶ丘中学校合唱部 (知事賞)、栄東中学校コーラス部 (教育長賞)、春日部豊春中学校 混声合唱団 (総局長賞)、ふじみ野大井中学校音楽部、星野学園中学校音楽部、春日部中学校合唱部、蕨第一中学校音楽部、川口領家中学校 A、所沢中学校コーラス部、浦和明の星女子中学校、熊谷富士見中学校音楽部
- 【銀 賞】 秩父第一中学校コーラス部、川越第一中学校合唱団、春日部武里中学校 Maria、川口領家中学校 B、川口青木中学校コーラス部、春日部中学校合唱部 1 年生、川口西中学校音楽部、小鹿野中学校音楽部、深谷上柴中学校音楽部、熊谷大原中学校合唱部
- 【銅 賞】 所沢南陵中学校 Angels、加須西中学校音楽部、さいたま城南中学校合唱団、春日部武里中学校 童、熊谷東中学校合唱部、加須昭和中学校音楽部、秩父第二中学校、所沢南陵中学校 Wing、伊奈小針中学校合唱部、蓮田平野中学校音楽部
- 【優良賞】 さいたま宮前中学校 (奨励賞)、羽生東中学校音楽部、行田見沼中学校合唱部、埼玉栄中学校コーラス部、所沢上山中学校合唱部、宮代須賀中学校合唱部、加須騎西中学校音楽部、日高高根中学校有志合唱団、秩父影森中学校コーラス部、久喜中学校合唱部

★ジュニアの部 (1/23)

- 【金 賞】 さいたま市立海老沼小学校合唱部、加須 J.
- 【銀 賞】 久喜市立久喜東小学校 さくらっ子合唱団、少年少女合唱団コーロ・トゥッティ
- 【銅 賞】 春日部ジュニアコーラス、児童合唱団「野うさぎ」

★レディーの部 (1/23)

- 【金 賞】 ピアチェーレ (知事賞)、コーラル・デイジー (教育長賞)、アンサンブル ファンタジア (総局長賞)
- 【銀 賞】 浦和ブルーコーラス、T-Croce、MION-美音-
- 【銅 賞】 女声合唱団 コール・秋桜、女声合唱団 萌、女声合唱団きらめき
- 【優良賞】 アンダンテ・ルッツィカーレ (奨励賞)、やまとなでしこ、清秀

★コースの部 (1/23)

- 【金 賞】 La Mer (知事賞)、Paradise Relax (教育長賞)、小松原OB合唱団「ピエロ」(総局長賞)
- 【銀 賞】 Chor Kraut、アンサンブル・シュル フ라우エン、Canto di Alauda、Korus Fenyö「コールシュ フェニュー」
- 【銅 賞】 混声合唱団 獅子、埼玉大合唱団 CooLa、合唱団「あべ犬東」
- 【優良賞】 Chor Grace (奨励賞)、埼玉大合唱団 HG

★一般の部 (1/23)

- 【金 賞】 合唱団 amore (知事賞)、メンネル A.E.C. (教育長賞)、女声アンサンブル Olive (総局長賞)、ルシアス、Raison detre
- 【銀 賞】 コーロ・ルリオ、コーロ・ピアチェーレ、合唱団「奏」、男声あんさんぶる「ポパイ」
- 【銅 賞】 混声合唱団 川越牧声会、コーロ・シュトローム、ヴォーカルアンサンブル未生
- 【優良賞】 混声合唱団 Bois de Voix (奨励賞)、ancora!

第 35 回

全日本おかあさんコーラス関東支部埼玉県大会

(第37回埼玉県おかあさんコーラス埼玉県大会)

2011年3月5日(土)・6日(日) 於：和光市民文化センター

今年は3月の声を聴いてもまだなお厳しい寒さが続いていましたが、全日本おかあさんコーラス関東支部埼玉県大会の開催を待っていたかのように、暖かい日射しに包まれた2日間でした。

埼玉全县より参集した83団体が、華やかにコーラスの競演を繰り広げ、それぞれの熱唱に会場から大きな拍手が湧き上がりました。

今年は池辺晋一郎先生(2日間通し)、源田俊一郎先生(第1日)、郡愛子先生(第2日)を講師にお迎えし、心温まる講評をいただきました。今後の各団の活動に、大いに参考になる種々のアドバイスの中で、一点考えねばならないご指摘を頂戴しました。一般のお客様が少ないということです。折角、この日のために一生懸命練習してきた成果を、一人でも多くのお客様にお聴かせしたい、この思いは皆共通ではありますが、残念ながら一般席には空席が目立ちました。ご家族の方々、お友達やお知り合いの方々に広くお声をかけて、次

回は満席のお客様の前で歌えるようになりたいものです。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

両日とも、第1部終了後、合同演奏「さいたまさちあり」を宮寺理事長の指揮、また見城真美さんのピアノに導かれて盛大に歌いました。昨年からはまったこの企画も徐々に広まり、今年もたくさんの方々にご出演いただきました。今年秋には京都市での国民文化祭で、今回ご出演くださった方々、そして新たに歌ってみようと思われる方々と共に、この「さいたまさちあり」を演奏する計画が着々と進んでおります。この機会にぜひご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

このおかあさんコーラス埼玉県大会が発信基地となり、たくさんの方々の歌の輪が色々な世界に広がっていくことを願って止みません。また来年も、華やかなおかあさんコーラス大会となります様、願っております。

(常務理事 小島 嘉子)

プチトマト

初出演、響き渡る歌声に圧倒されながらも…

代表 田上 真知子

私達プチトマトは、結成22年になりますが7年目に第1回定期演奏会を開いたとき活動は主に地元の合唱祭に出演するだけでした。まだ余力のある今のうちに何かしたい、そんな声が出て、井の中の蛙が県大会というものに出てみよう！という事になりました。

今回演奏した曲「宝石」を仕上げる中で、偶然にもブルーダイヤモンドについてのTV放送があり、歌詞に出てくる“インドのダイヤ”の事に違いないと勝手に解釈し、あまり縁のない宝石のイメージを映像で膨らます事ができました。スミソニアン博物館に眠るというブルーダイヤモンドにちなみ、ブルーの衣装で臨む事となりました。

当日はまるで遠足の小学生のように皆で電車に乗り会場入り。そしてキョロキョロ。他団体の予想外に若々しい声、少人数なのに響き渡る歌声に圧倒されながらも何とか緊張のステージを終えました。舞台からの景色は客席にあきがあり、県大会=多勢の人達という思い込みがはずれ、良かったような少し拍子抜けのような。しかし、大いに刺激を受けて「やっぱり県大会は違うね」と帰途についたのです。小さな紙切れだけどズシと重い講評とマヨネーズをお土産に。



撮影：スタッフ・テス株

Tact vol.11



指揮者 須藤 和子

人生の流れを感じながら…

旧大宮市での合唱活動のスタートは植竹子ども合唱団でした。今年の9月11日に、ソニック小ホールで木犀、霽の会と合同で30周年記念演奏会を開きます。発足当時は80名位いましたので、移動するのも大変でした。そこで親子で移動すれば完璧な安全確保が出来ると思ってお母さん方に参加してもらいました。お蔭様でこの30年間、一度も事故はありませんし、市から離れて自由にステージを選ぶことも出来ました。新宿文化センターで10年間にわたって中田喜直、磯辺俣氏の講評を受けながら歌うという企画に参加したの

をきっかけに、子どもたちは羽ばたき、サントリー、武道館、東京オペラシティその他都内の大きなホールに立ちました。この子どもたちを育ててくれた親の団が「霽の会」なのです。学生時代から合唱に興味があり、卒業と同時に、ソルフェージュの先生が初代の指揮者になられた東京都民合唱団の一期生として入団、授業とは全く違った大曲を夢中で歌ったものです。上野の文化会館のこけら落としも、もちろん我が都民合唱団でした。時が流れ、関西でお母さんコーラスに出会いました。そこのお母さん達の情熱、パワーに圧倒され誰もが参加、歌えるのが合唱なのだ、おそまきながら気づかされたのです。それから冒頭に書きました団との合唱活動が始まったわけです。原語で歌う為に、ネイティヴを探し教えを請い、オープンカレッジに顔を出し、合唱講座で学び、勉強会を立ち上げたりと学生時代より勉強しましたねえ。何よりその間、仲間として、また一緒に苦労して会を維持したりと、今思い出すだけで熱い思いが込み上げてくる友人、先輩、後輩がいたことが、何よりの宝です。現在はユース、お母さん、高齢の方と、人生の流れを感じながら毎週指導しております。今や20名を切っている植竹子どもですが、この合唱の魅力を伝え、もっと歌好きにしたい！ 昨年卒団生の子どもが入団してきました！ 光陰矢のごとしです！

※ 第25回国民文化祭・おokayama2010 あ晴れ!おokayama国民文化祭

2010年10月31日(日) 於：岡山県/岡山シンフォニーホール

女声合唱団 ヴォーチェ・ピアンカ

私たちは2010年10月31日、岡山シンフォニーホールで開催されました「晴れの国わくわくコーラス夢舞台合唱の祭典」に埼玉県の代表として出演させていただきました。全国より23団体が出演し、それぞれの磨かれた美しいハーモニーがホール一杯に広がり、感動的で素晴らしい祭典となりました。

私たちは「日本の四季」より岡山にゆかりの深い竹久夢二の「宵待草」等を演奏し、パフォーマンスも加えて表現いたしました。鎌田弘子先生御指導のもと、レッスンを重ねて舞台に臨み、その喜びを会場の皆様と共感できましたことを大変うれしく思いました。

運営スタッフの方々も大変親切な対応をして下さいましたが、午前中に集客の配慮があれば、もっと多くの方に聴いていただくことができたと思います。

前日には世界的な名画が集められた大原美術館や伝統的な町並みの倉敷美観地区を巡り、美しい紅葉と岡山の文化の一端に触れることができました。

遠方の岡山へ総勢63名で参加しましたが、目標を無事達成することができましたことを大変感謝しております。素晴らしく貴重な体験をさせていただきまして心から御礼申し上げます。

私たちは来年春のグランドコンサートに向けて新たにスタートをしております。



40周年**コール・ソアール**

代表 池田まゆみ

ソアールとはフランス語で“姉妹”

2010年10月3日コール・ソアール40周年記念コンサートを和光市民文化センター大ホールにて開催しました。

40年の歴史と歳を重ねた私たちの人生を、テーマである～歌への想い～に込め、草川啓作曲「終わらない歌」をメインに、岡部富士夫先生の曲や世界の歌、ミュージカル曲などアンコールを含め20曲以上熱唱しました。

記憶力が怪しくなり、その上頭で理解していても首をかしげてしまうような発声がしばしばの私たちを、武かほる先生は本当に根気強く丁寧に指導くださいました。利根川先生はいつも素敵な伴奏で私たちを助けてくださいました。

ソアールとはフランス語で“姉妹”、お二人の先生はもちろんの事、創立時の団員から新しい団員まで24名の姉妹が心を一ツに合わせ、40周年のステージでハーモニーを奏でる事が出来たのは何と幸せなことでしょう。これも地域の皆様の応援や家族の理解のおかげと感謝しています。

これからもソアールの和やかで温かい雰囲気大切に、楽しく歌い続けていきたいと思っています。

＊＊＊それぞれの周年記念＊＊＊

**20周年****香日向グリーンエコー**

団長 田中文子

明るく・仲良く・団結して…

20年前6名で発足した「香日向グリーンエコー」も現在は30歳代～70歳代の28名とメンバーが増え、2010年9月11日に栗橋イリスホールで「平和」をテーマにした創立20周年記念コンサートを開催致しました。「明るく・仲良く・団結して」をモットーに会場にお越しいただいた皆様楽しんでいただけるステージを目指して、藤井和枝先生の暖かく情熱的なご指導のもと、団員一同、心を一ツに練習に励んでまいりました。当日は西尾美智子先生のピアノ伴奏で第一部は女声合唱曲集「そのひとがうたうとき」第二部は「サウンドオブミュージック合唱曲より」、第三部は平和への願いをこめて「さとうきび畑・We are the world 他」、アンコール曲を含め15曲を熱唱致しました。ご来場のお客様のアンケートに「楽しそうに生き生きと歌っていて、聴いていて楽しくなりました」と書かれていて、とても嬉しく、勇気づけられました。

これからも「香日向グリーンエコー」は創立25周年に向けて心を磨き、楽しく練習に励み、一步成長した歌声・美しいハーモニーを奏でられるように、新たな決意で団員一同頑張っています。

♪ 私たちの場所

Stage

春日部女子高校音楽部

顧問 平野ちとせ

春日部女子高等学校は2011年に創立百周年を迎えます。今年度は様々な百周年記念行事を行い、音楽部も記念式典では発表をしました。音楽部の歴史も古く、来年度は第32回の定期演奏会を予定しています。

活動は埼玉県、春日部市の合唱祭・合唱コンクール・アンサンブルコンテストを中心に練習をしています。昨年8月には第34回全国高校総合文化祭宮崎県大会に参加しました。全国の合唱を愛する仲間と会い、大きな舞台を経験させていただき、新たな気持ちでまた合唱に取り組んでいます。楽しく、明るく、美しいハーモニーを目指して頑張っています。

所沢「ねむの会」

団長 山田 直子

所沢「ねむの会」は、昨年創立35周年記念演奏会を開催しました。順調に35年来たわけではなく、4~5人のメンバーで細々と歌って指導者へのお礼も厳しい中、それでも仲間達は集まってくれました。そして10数年前に奥村さゆり先生とご縁を頂いてからは先生のお人柄の良さと、高齢で理解の遅い私達にも根気良く丁寧に分かりやすくご指導くださり、どんどん仲間がふえて、今では20人の仲間とホントに楽しく和やかに練習しています。素敵な伴奏者にも恵まれて、色々苦労はありましたが今日まで頑張ってきて良かった・・・と苦労をともに乗り越えてくれた団員、そして今は新旧メンバー関係なくとても和やかな団の雰囲気本当に感謝です。

コーラル・デイジー

代表 浅見 恵子

平成に年号が変わった時、さいたま市にある幼稚園で私たちは誕生しました。時には子育ての悩みを聞いてくれたメンバーとの別れもありました。当時練習場を駆け回っていた子ども達も今では立派に成人し、新たな出会いがありメンバーの輪も広がりました。そんな私たちを週一回楽しませて下さるのが指導者おふたり。エネルギーで情熱溢れる小島嘉子先生と鍵盤の魔術師筑波則子先生の最強ペアです。昨秋東京ディズニースーパースターミュージック・フェスティバル・プログラムに参加する機会に恵まれ、学生さん達と同様に楽しい体験をさせていただきました。素敵な仲間と一緒に、私たちはこれからもチャレンジ精神と出会いを大切に歌い続けます。

小鹿野中学校音楽部

2年部長 加藤 瑞規

私達小鹿野町立小鹿野中学校音楽部は、顧問の廣瀬順子先生のご指導の下、1年生3人、2年生4人、3年生3人、計10人で毎日楽しく活動しています。少人数ながら、一人一人が一生懸命毎日の活動に取り組んでいき、ついに第22回埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテストでは、1・2年生7人で出場し銀賞をいただくことができました。しかし、ここで満足せず、もっと上を目指し仲間と共に努力していきたいです。今回のヴォーカルで仲間との絆をより一層深めることができ、新しい事もたくさん学ぶことができました。この経験をバネにして今後の活動に活かしていきたいです。みなさんどうぞ鹿中音楽部を宜しく願いいたします。

編集
後記

間もなく年度の切り替えを迎えようとしている。この時期は日本中が辛い別れと新しい出会いに溢れ、その中から生まれた名曲も少なくない。合唱を愛する皆さまのまわりは如何でしょうか？味わい深き「春」となりますように。
(小野瀬)

いつまでも美しい街に暮らす「幸福感」ポラスの分譲住宅。

ポラスは、長く大切に使う住まいづくりを行っています。

DESIGN × TECHNOLOGY = POLUS

「デザイン=価値」×「技術=品質」— お客様に最高の満足を提供したいポラスの揺るがないコンセプト。

こだわりの家を建てた「満足感」ポラスの注文住宅。

住まい価値創造企業 **POLUS** ポラスグループ

www.polus.co.jp

ポラス(株)越谷市南越谷1-21-2 TEL.048-989-9119
宅建業国土交通大臣(10)第2401号 建設業国土交通大臣許可(特-18)第8156号

